

一般社団法人 日本看護研究学会近畿・北陸地方会 2021 年度総会

会期：2022 年 3 月 14 日（月）～3 月 27 日（日）

場所：近畿・北陸地方会ホームページ URL <https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/>
議題

【報告事項】

1. 第 35 回近畿・北陸地方会学術集会 メインテーマ「今だからこそ改めて考える健康長寿」
 - 学術集会長：岡山 寧子氏（同志社女子大学看護学部／大学院看護学研究科）
 - 企画実行委員長：木村 静氏（同志社女子大学看護学部／大学院看護学研究科）
 - 開催方法：オンデマンド・誌上発表形式
 - 概要：学術集会長講演「健康的な暮らし方支援へのマイルストーン」岡山 寧子氏
教育講演「介護予防と健康長寿」木村 みさか氏（同志社女子大学看護学部／大学院看護学研究科）
教育講演「口腔機能からみた健康長寿」吉田 光由氏（広島大学大学院医系科学研究科（歯））
一般発表 25 演題（抄録発表）
2. 2021 年度活動報告
 - (1) 広報委員会関連活動〔資料 1〕
ホームページおよびリレーブログ更新状況，ニュースレター第 25 号配信
 - (2) 看護研究セミナー活動〔資料 2〕
第 32 回・第 33 回セミナー企画・案内
第 33 回セミナー：オンライン・オンデマンド開催「アクセプトされる“論文力”の強化の秘訣」
法橋尚宏氏（神戸大学大学院保健学研究科）
 - (3) 次期世話人代表選挙実施〔資料 3〕
3. 2021 年度会計報告〔資料 4〕

【審議事項】

1. 日本看護研究学会近畿・北陸地方会 世話人代表選挙結果〔資料 5〕
若村智子氏（京都大学大学院医学研究科）を新世話人代表に決定する
2. 2022 年度活動計画
 - (1) 広報委員会関連活動
ホームページ更新計画，リレーブログ原稿協力依頼，ホームページ掲載原稿
 - (2) 看護研究継続セミナー活動
ネットワークを活用したセミナー開催
 - (3) 第 36 回近畿・北陸地方会学術集会開催（集会長未定）
3. 2022 年度予算案〔資料 6〕

2021 年度 広報委員会 活動報告

メンバー：金粕仁美、佐野かおり、藤本ひとみ、真継和子

1. 2021 年度ホームページ閲覧状況

- ・ HP アクセス件数は 2022 年 2 月 28 日現在、1,285 件であり、前年度（同時期）と比べ 25.2 ポイント上昇した。アクセス件数のピークは総会報告（4/5）がトップであり、次いで世話人代表選挙公示（11/20）、看護研究セミナー開催案内（8/3）、第 35 回学術集会開催案内（6/8）であった。
- ・ ページビュー数（閲覧されたページ数の合計、再閲覧の場合もカウントあり）が最も多かったのは「トップページ」の 58.2%、次いで「総会報告」で 10.81%であった。

2. 2021 年度リレーブログ更新状況

- ・ 例年、毎月 1 回のペースで更新してきたが、執筆依頼、更新作業の負担を考慮し、今年度は 2 か月に 1 回の更新とした。リレーブログのページビュー数は全体の 1.16%であり、昨年度より 44 件増であった。

3. 第 25 号ニュースレターの配信

- ・ メーリングリストを活用しての配信、HP への掲載とした。（2022 年 1 月 25 日発行）
- ・ 第 33 回看護研究セミナー「アクセプトされる“論文力”強化の秘訣」オンライン（Zoom 利用）オンデマンド併用開催となった講演内容を多くの会員に届けるため、当該セミナー講師の法橋尚宏先生（神戸大学大学院）に執筆依頼・配信した。

2021年度 看護研究セミナー 活動報告

メンバー：清水由香里 茅野友宣 松村愛都 東知宏 白坂真紀 野口遼 本田可奈子

今年度はコロナ禍の影響により、Zoomを用いたオンデマンド開催とした。
年度当初は2回（第32回、第33回）の開催を企画したが、第32回は講師の都合により中止となった。

企画の詳細とセミナー後のアンケート内容は次に示す。

1. 第32回看護研究セミナー

講演会テーマ：「眼球運動の力学を看護にいかす」

講師：米田照美氏（滋賀県立大学人間看護学部准教授）

日時：2021年9月12日（土）13時30分～17時

⇒9月2日 講師の拠無い事情により中止となる。

2. 第33回看護研究セミナー

講演テーマ：「アクセプトされる“論文力”の強化の秘訣」

講師：法橋尚宏氏（神戸大学大学院保健学研究科教授）

日時：2021年12月19日（日）12時30分～15時30分 ライブ+オンデマンド

動画配信期間：2021年12月21日（火）～12月30日（木）

参加者：申し込みは44名であった。（ライブ参加者22名、オンデマンド視聴回数22回）

アンケートには20名の回答があった。

【補足】

開催方法については、講師と複数回メール連絡により検討し、オンラインとオンデマンドの併用とし、オンラインはWeb会議ツール「Zoom」を使用、申し込み人数は100名までとした。

オンデマンド配信は動画共有サイト「YouTube」を、セキュリティを考慮し講師アカウントを使用することとした。

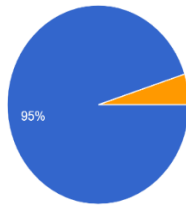
【ライブ参加者からの意見】

- ・（エディターキックとならないよう）研究実施や調査から、5年以内には論文にまとめるように努力してみようと思う
- ・（講師が実践されている）論文合宿にぜひ参加してみたいと思った。集中力が養われ、論文を書かなければという気持ちになれるのではないかと思った。
- ・アクセプトされるようなタイトルの付け方があるという事を学んだ

3. 第33回看護研究セミナー 動画配信後のアンケート結果

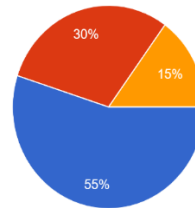
n=20

現在の所属について教えてください。
20件の回答



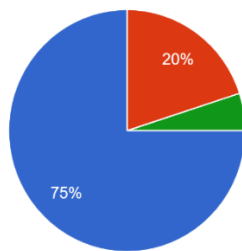
● 大学
● 専門学校
● 医療施設
● 学生

セミナーの満足度について
20件の回答



● 大変満足
● 満足
● 普通
● やや不満
● 不満

セミナーの内容について
20件の回答



● よくわかった
● わかった
● どちらとも言えない
● 難しかった
● 大変難しかった

【アンケートからの意見抜粋】

- ・大学教員として、研究者として、当然のことをわかりやすく仰っていただき、全国区でこのようなセミナーを開催していただきたいと思った。
これからも研鑽して論文を発信していきたい。
- ・投稿に対する当たり前のことを明確に整理してくださり、査読も行いやすくなったと思った。
今回のセミナーは、大学教員、研究者を対象にされたものだったのか(?) 臨床の方々にとっては、看護研究学会誌への論文投稿のハードルが高くなったように思った。
- ・編集長のお立場からの査読の裏話や、投稿者の心得に関するお話は大変有意義だった。査読のモチベーションを下げるような不親切な説明などに遭遇すると、とても疲弊する。大学院生など、若い研究者に是非聞いてもらいたい内容と思った。
- ・今回の研修を受け、投稿する側、査読する側の投稿規定を読むだけではわからなかった部分を知ることができ、今後も積極的に投稿していけるよう研究に真摯に取り組んでいきたい。
また、研究をチームで行うこと重要さを現在非常に感じている。大学の垣根をこえた研究ができるように今後も積極的に研修や学術集会に参加して行きたい。

- ・研究にも教育的な側面があることを、知的に（感情論ではなく）理解することができた。
最も印象に残っているのは、研究は共同ですという指摘である。
人とチームを組むことができ、利害が絡む中で共有できる方向性を形成することができる、常識的な人間関係が大切だと思った。
- ・知人からの声かけで参加したが、開催の知らせを見逃していた。
もっと宣伝してもらえる方が有難い。
- ・論文執筆・投稿のポイントについて分かりやすくご講演いただき、とても勉強になった。
査読経験があまりないため、査読についても知ることができてよかった。ネット回線によるものか、音声途切れることが多くうまく聞き取れない部分もあった。
- ・貴重で有難いお話を聴かせていただき、論文を作成していこうという気持ちになった。
- ・大変勉強になった。数多くの名言に研究のモチベーションが高まった。
日々努力しようと思った。
- ・非常に基本的なことから最新の傾向までを分かりやすく説明していただいた。できれば、質疑応答の内容も聞きたかった。
- ・質疑応答も聞けるとよかった。本日は総論だったので、次は具体例があるとよいと思った。
- ・オンデマンド配信をしていただいたので、より理解が深まった。質疑応答部分も録画されているとよりよかった。

【今後の看護研究セミナーで取り扱うご希望のテーマ】

- ・看護教育に関する研究について
- ・RCTなどの介入研究と実施モニタリング・看護倫理について
- ・量的研究で必要な統計学的分析について
- ・研究費獲得の技術のようなもの
- ・論文の書き方

令和 3 年 10 月 1 日

一般社団法人日本看護研究学会

会員各位

日本看護研究学会近畿・北陸地方会

世話人代表選挙管理委員会

木戸 倫子 辻本 朋美

世話人代表選挙（公示）

今年度は日本看護研究学会近畿・北陸地方会の世話人代表の改選時期にあたります。つきましては、「日本看護研究学会近畿・北陸地方会会則」、「日本看護研究学会近畿・北陸地方会施行細則」に基づき選挙を実施致します。

下記確認の上、投票してください。

記

- 1 期間 令和 3 年 11 月 20 日(土)～11 月 30 日(火)
- 2 方法 インターネットによる Web 投票
- 3 被選出資格 任期中、近畿・北陸地区選出の評議員であること
- 4 投票者数 1 名
- 5 投票画面* <https://service.gakkai.ne.jp/societymember/-auth/election/JSNR>
*地方会ホームページからのリンクあり

6 ログイン方法

- 会員 ID(会員番号)とパスワード**を入力する
パスワードは本会の会員情報管理システムと同じもの
- 画面の指示に従い投票する
**パスワードが不明の場合
オンライン選挙システムトップページの【ログインできない方はこちら】から再発行の手続きを行う

以上

何卒よろしく願いいたします

令和 4 年 3 月 7 日

令和 3 年度 会計報告・監査報告（一般会計）

1. 収入の部

項 目	予算額	実績額	備 考
地方会補助金	¥644,000	¥644,000	
前年度繰越金	¥3,933	¥3,933	
利子	¥2	¥4	
世話人代表選挙費用	¥350,000	¥248,335	
その他	¥0	¥0	
合 計	¥997,935	¥896,272	

2. 支出の部

項 目	予算額	実績額	備 考
事務費	¥ 97,495	¥104,764	事務維持費、郵送費
広報活動費	¥200,000	¥ 26,295	一斉メール配信料と振込手数料、web サイト更新費
学術集会補助費	¥150,440	¥150,440	第 35 回学術集会補助費と振込手数料
看護研究継続セミナー補助費	¥ 150,000	¥ 323,368	講師謝金、セミナー運営費
世話人会会議費	¥ 50,000	¥ 6,600	世話人会に関する案内費用
世話人代表選挙費用	¥350,000	¥ 248,335	
今期執行予定額	¥0	¥ 36,470	監査書類郵送料、次期世話人への事務 資料郵送料、総会に関する事務手数料 と一斉メール配信料、文具費
来期繰越金	¥ 0	¥ 0	
合 計	¥997,935	¥896,272	

残 額：収入合計額 ¥896,272－支出合計額 ¥ 896,272 = ¥0

上記の通り、ご報告申し上げます。

令和 4 年 3 月 7 日 会 計 木 村 静

令和3年12月2日

一般社団法人日本看護研究学会

近畿・北陸地方会

世話人代表 井上 智子 様

一般社団法人日本看護研究学会近畿・北陸地方会

世話人代表選挙管理委員会

木戸 倫子 辻本 朋美

世話人代表選挙結果（報告）

日本看護研究学会近畿・北陸地方会の世話人代表選挙結果を、下記の通りご報告致します。令和3年11月20日(土)～11月30日(火)の期間に、インターネットによるWeb投票にて実施致しました。

記

【定数：1】 選挙人：1049 投票者：183 投票率：17.4%

順位	被選挙候補者	得票数	得票率
1	(011973) 若村 智子	25	13.70%
2	(010820) 法橋 尚宏	20	10.90%
2	(011514) 安酸 史子	20	10.90%

以上

令和 4 年 3 月 7 日

令和 4 年度 予算案（一般会計）

1. 収入の部

項 目	令和 3 年度 実績額	令和 4 年度 予算額	備 考
地方会補助金	¥644,000	¥644,000	
前年度繰越金	¥3,933	¥0	
世話人代表選挙費用	¥248,335	¥0	
利子	¥4	¥2	
合 計	¥896,272	¥644,002	

2. 支出の部

項 目	令和 3 年度 実績額	令和 4 年度 予算額	備 考
事務費	¥ 104,764	¥193,562	通信費、郵送費、文具費、事務維持費
世話人会会議費	¥ 6,600	¥50,000	
広報活動費	¥ 26,295	¥50,000	ニュースレター編集、一斉メール送信 費、振込手数料
看護研究継続セミナー補助費	¥ 323,368	¥200,000	セミナー開催諸経費、講師代
学術集会補助費	¥ 150,440	¥150,440	第 36 回学術集会
世話人代表選挙費用	¥248,335	¥0	
令和 3 年度執行予定額 (事務費等)	¥ 36,470	¥0	
合 計	¥896,272	¥644,002	